



わしはその辺も  
含めて 一切合切  
描いたる

古典の如く  
雅なだけや  
のうて……

醜いもんまで  
描いて初めて  
真の乙な絵やで!

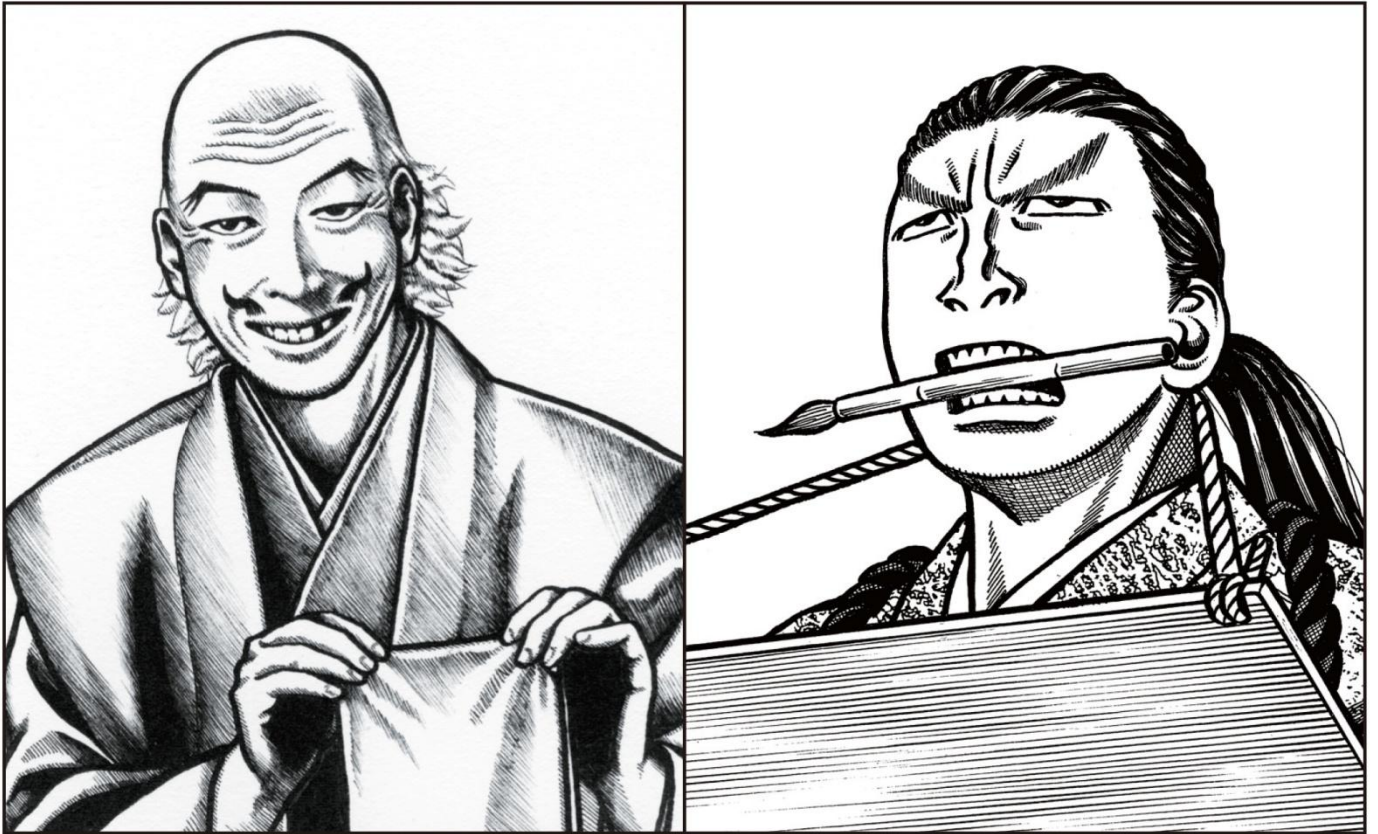
©山田芳裕／講談社

福井移住 400 年記念 岩佐又兵衛特別企画

# 『へうげもの』 生原画展

協力：山田芳裕&講談社モーニング編集部





©山田芳裕／講談社

「<sup>いわさまたべえ</sup>岩佐又兵衛展」の開催に合わせ、<sup>けんいん</sup>桃山文化を牽引した<sup>ふるた</sup>武将茶人・古田  
<sup>おりべ</sup>織部が主人公の人気漫画作品『へうげもの』（山田芳裕／講談社「モーニ  
ング」連載中）の生原画展を開催します。主人公織部、そして同時代の美  
の巨人・<sup>ほんあ みこうえつ たわらやそうたつ</sup>本阿弥光悦、俵屋宗達らと並んで、主要キャラクターとして登場  
する岩佐又兵衛。いきいきと描かれる人物像とその活躍を、又兵衛を描い  
た生原画でお楽しみください。

「へうげもの（ひょうげもの）」とは、「<sup>ひょう</sup>割げ」の意、つまり「ふざけおどけること。またはその人」を指す言葉です。古田織部が主催した茶会では、歪んだ「へうけもの」の瀬戸茶碗で薄茶が振る舞われたことが伝えられており、織部の美意識を伝える言葉です。

# 『へうげもの』について

桃山文化を牽引した武将茶人・古田織部<sup>ふるたおりべ</sup>を主人公として描いた歴史漫画作品。戦乱の世に、茶の湯と物欲に溺れた一人の数寄者<sup>すきしゃ</sup>の生涯が、痛快かつコミカルに描かれます。『モーニング』にて連載中の本作は、第13回文化庁メディア芸術祭マンガ部門最優秀賞（2009年度）、第14回手塚治虫文化賞マンガ大賞を受賞するなど、高く評価されています。ひたすら自らの「乙」を追い求める織部の行く末は如何に！

## 原画展に登場する主なキャラクター



ふるたおりべ  
古田織部



いわさまたへえ  
岩佐又兵衛



たわらやそうたつ  
俵屋宗達



ほんあ みこうえつ  
本阿弥光悦



とよとみひでよし  
豊臣秀吉



あらかむらしげ  
荒木村重

やまだよしひろ

山田芳裕（1968年1月7日～）

漫画家。新潟県新潟市出身。大学在学中、講談社主催の漫画新人賞・ちばてつや賞に入賞。受賞作『大正野郎』でモーニングからデビュー以来、個性的なキャラクターとオリジナリティーの高いストーリーで、ユニークな話題作を発表し続けている。現在連載中の『へうげもの』は2009年度文化庁メディア芸術祭で最優秀賞を受賞。